

日本初の世界文化遺産・ 姫路城を擁する国際観光都市

白漆喰壁と天守閣の優雅な姿から「白鷺城」の名で親しまれ、日本で初めて世界遺産に登録される。また、武家屋敷跡に姫路城を借景とする「好古園」を整備し、近隣府県市と連携した海外プロモーション、海外メディア・旅行会社を対象としたファミトリップを実施するとともに、フィルムコミッションによる海外テレビ局の撮影・雑誌取材の支援を行っている。



殿様・お姫様ガイドと記念写真に収まる観光客

入込客数

姫路市観光アンケート報告書

平成14年(2002)	5.8万人
平成15年(2003)	6.5万人
平成16年(2004)	9.1万人
平成17年(2005)	10.5万人
平成18年(2006)	13.0万人



魅力

歴史・文化

まちめぐり・まち景観

体験・イベント

世界文化遺産・国宝「姫路城」と「城下町」

徳川家康の女婿池田輝政が1601年から8年の歳月をかけて築いた現在の姫路城。以来400年間一度も戦火にまみれることなく、内曲輪の城郭建築がほぼ完全な形で残され、日本を代表する城として、後世に受け継がれるべき遺産。また、姫路城を活かした観光まちづくりとして、城下町の歴史を伝える「歴史のみちすじ」や「家老屋敷跡公園」を整備



歴史のみちすじ

ザ 祭り屋台 in 姫路

本市を中心とする播磨地域は、勇壮さで知られる「灘のけんか祭り」など、豪華絢爛な屋台を練り合わせる秋祭りが盛んな地域であり、世界文化遺産・姫路城と、「祭りどころ姫路」を全国にPRし、その魅力を全国に発信するイベントを実施。



姫路城での屋台練りの披露

取組

案内・情報提供

人材育成

ホスピタリティあふれる都市

姫路を訪れる観光客に満足していただくため、街中で手軽に観光情報を入手できる「まちかど観光案内所」や携帯電話による観光情報サイト「モバイル観光ナビ」の開設、姫路城の多言語(英語・中国語・韓国語)音声ガイド、観光パンフレットを作成。また、ホスピタリティの向上を図る「姫路おもてなし講座」や、姫路への知識を深める「姫路観光インフォメーション放送」・「姫路観光文化検定試験」を実施。



外国語観光ボランティアガイドの育成

外国語観光ボランティアガイドを育成するとともに、グッドウィルガイドの育成に努めている。



ボランティアガイドによる姫路城案内